

徳島地域連携協議会

徳島地域連携協議会は、下記の「設置」目的に則って、平成15年2月4日に設置されました。平成26年4月までに徳島県、県内全ての市町村、徳島県市長会、徳島県町村会と連携協定締結し、平成26年8月29日に開催した「平成26年度徳島地域連携協議会」には、全ての自治体に参画いただきました。

徳島大学側の窓口である総務部企画・評価課に事務局が置かれていて、県側の窓口は徳島県政策創造部総合政策課となっています。
(平成28年3月現在)

徳島地域連携協議会設置要項

| |
|---|
| (設置) |
| 第1 徳島県、徳島県下の全市町村、徳島県市長会、徳島県町村会及び徳島大学は、地域の雇用創造、産業振興への貢献、地域の課題解決への貢献、地域のイノベーション創出人材の育成等の地域の再生に向けて、連携・協力を行うため、徳島地域連携協議会(以下「協議会」という。)を置く。 |
| (業務) |
| 第2 協議会は、次の業務を行う。 (1) 地域連携の企画・調整に関すること。 (2) 連携事業ニーズに係る情報収集に関すること。 (3) 連携事業の実施計画に関すること。 (4) 実施される連携事業の広報に関すること。 |
| (組織) |
| 第3 協議会は、別表に掲げる委員をもって組織し、会長及び副会長は、同表に示すとおりとする。 |
| (会長及び副会長の職務) |
| 第4 会長は、協議会を招集し、その議長となる。 2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。 |
| (運営会議) |
| 第5 協議会が行う業務について審議するため、運営会議を置く。 2 協議会は、委員の過半数の出席がなければ運営会議を開くことができない。 3 議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。 |
| (代理出席) |
| 第6 第3の委員が運営会議に出席できないときは、代理の者を出席させることができる。 |
| (委員以外の者の出席) |
| 第7 協議会が必要と認めるときは、運営会議に委員以外の者の出席を求めて意見を聴くことができる。 |
| (庶務) |
| 第8 協議会の庶務は、徳島大学総務部企画・評価課において処理する。 |
| (雑則) |
| 第9 この要項に定めるもののほか、協議会について必要な事項は運営会議の議を経て定めるものとする。 |
| (略) |
| 附 則 この要項は、平成26年8月29日から実施する。 |

徳島地域連携協議会構成員 (平成28年3月現在)

| | | |
|--------|-----------------|-----|
| 徳島県 | 政策創造部県立総合大学校本部長 | 副会長 |
| | 各部局主管課長 | |
| | 南部総合県民局経営企画部長 | |
| | 西部総合県民局企画振興部長 | |
| | 県立総合教育センター所長 | |
| 徳島市 | 大学連携担当部課長 | |
| 鳴門市 | 大学連携担当部課長 | |
| 小松島市 | 大学連携担当部課長 | |
| 阿南市 | 大学連携担当部課長 | |
| 吉野川市 | 大学連携担当部課長 | |
| 阿波市 | 大学連携担当部課長 | |
| 美馬市 | 大学連携担当部課長 | |
| 三好市 | 大学連携担当部課長 | |
| 勝浦町 | 大学連携担当課長 | |
| 上勝町 | 大学連携担当課長 | |
| 佐那河内村 | 大学連携担当課長 | |
| 石井町 | 大学連携担当課長 | |
| 神山町 | 大学連携担当課長 | |
| 那賀町 | 大学連携担当課長 | |
| 牟岐町 | 大学連携担当課長 | |
| 美波町 | 大学連携担当課長 | |
| 海陽町 | 大学連携担当課長 | |
| 松茂町 | 大学連携担当課長 | |
| 北島町 | 大学連携担当課長 | |
| 藍住町 | 大学連携担当課長 | |
| 板野町 | 大学連携担当課長 | |
| 上板町 | 大学連携担当課長 | |
| つるぎ町 | 大学連携担当課長 | |
| 東みよし町 | 大学連携担当課長 | |
| 徳島県市長会 | 事務局長 | |
| 徳島県町村会 | 事務局長 | |
| 徳島大学 | 副学長(地域連携担当) | 会長 |
| | 地域連携戦略室の構成員 | |

まちしごとファクトリースタートアップ・フォーラム「まちしごと」を創りだす～地域におけるスモールビジネスの可能性と実践～

開催主旨

国は「地方創生」を叫んでいるが、地方では既に様々なアクティビティが創発的に生まれ、地域の新しい価値を創りだしつつある。こうした取組は「スモールビジネス」と言われているが、単純なビジネスではなく、地域との呼応関係の中から生まれてきている。こうした取組を「まちしごと」と呼ぶことが出来る。

本事業では徳島新聞社と徳島大学、地域で「まちしごと」を実践している実業家によるコラボレーション企画を通じて、地域で「まちしごと」を創り、実践するアクターを創りだすことを目指している。本シンポジウムは「まちしごと」を創りだし、実践するにあたっての可能性と課題を明らかにすることを目的とする。

日時：平成27年7月5日(日)
13時30分～17時00分
場所：徳島会場：徳島大学「にしあわ学舎」
東京会場：明治大学駿河台キャンパス
主催：徳島大学、徳島新聞社
共催：明治大学、徳島県
協力：一般社団法人四国若者会議、美馬市、三好市、つるぎ町、東みよし町

開会挨拶：徳島新聞社理事 吉村 昇

趣旨説明：地域創生センター副センター長 山中 英生

基調講演

・小さなまちを拠点にしごとを創る、まちを創る

一群言堂のこれまでとこれからー

株式会社石見銀山生活文化研究所

代表取締役所長 松場 登美

パネルディスカッション

・地域の力を引き出す「まちしごと」の在り方とは

ーにしあわの取組とこれからー

■コーディネーター

田口 太郎・瑞田 信仁 ※東京会場にて参加

■パネリスト

田村 圭介・西崎 健人・植本 修子

■コメンテーター

松場 登美・松本 雄大

閉会挨拶：地域創生センター副センター長 山中 英生

概要

タウンミーティングは、同大学が徳島県内市町村の有する課題を取り上げ、地域と大学の相互対話を通じて解決に

向けた取組について協議するもので、地域貢献事業の一環として毎年県内各地で開催しているもので、今回で12回目となりました。

今回のタウンミーティングは、同大学が徳島新聞社との間で締結した連携事業として、地域で「まちしごと」を実践している実業家によるコラボレーション企画を通じて、地域で「まちしごと」を創り、実践する起業家を創りだすことを目指しており、徳島大学「にしあわ学舎」と明治大学駿河台キャンパスをスカイプ中継でつなぎ行われ、徳島は150人、東京は30人の参加があった。

徳島新聞社の吉村理事の開会挨拶に続き、(株)石見銀山生活文化研究所代表取締役所長 松場 登美氏から「小さなまちを拠点にしごとを創る、まちを創るー一群言堂のこれまでとこれからー」と題して基調講演が行われた。

続いて行われたパネルディスカッション『地域の力を引き出す「まちしごと」の在り方とはーにしあわの取組とこれからー』では、パネリストのフナト店主・(株)ヴィレッジズ代表取締役 田村 圭介氏、heso salon 店主・heso camp 代表 西崎 健人氏、ハレとケデザイン舎代表 植本 修子氏からの話題提供の後、コーディネーターの本学地域創生センター 田口 太郎准教授は「徳島会場」から、一般社団法人四国若者会議代表理事 瑞田 信仁氏は「東京会場」からのやりとりがあり、コメンテーターの(株)石見銀山生活文化研究所代表取締役所長 松場 登美氏、トーマツベンチャーサポート(株)松本 雄大氏から様々なご意見を頂戴した。

なお、この模様は、池田ケーブルネットワークやインターネット上の動画配信サイト・ユーストリームでも中継され、盛況のうちに終了した。



とくしま元気印イノベーション人材育成プログラム キックオフシンポジウム

開催主旨

本学が申請校となり、今年度に採択された地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COCプラス)「とくしま元気印イノベーション人材育成プログラム」のキックオフシンポジウムを開催する。

シンポジウムでは、企業のメリットを考えたインターンシップについての講演や、若者の地域定着と徳島県の活性化をテーマとしたパネルディスカッションを行う。

日時：平成28年3月8日(火)

14時00分～17時15分

場所：徳島グランヴィリオホテル

1階 グランヴィリオホール

主催：とくしま元気印イノベーション人材育成協議会

開会挨拶：とくしま元気印イノベーション人材育成協議会
会長 香川 征（徳島大学長）

来賓挨拶：徳島県知事 飯泉 嘉門
文部科学省高等教育局大学改革官 山口 良文

基調講演

・「実践型インターンシップで企業の可能性を拓く」

NPO法人ETIC.チャレンジ・コミュニティ・プロジェクト

事務局マネージャー 伊藤 淳司

事業紹介①

・「とくしま元気印イノベーション人材育成プログラムについて」

徳島大学COCプラス推進本部推進監、大学院ソシオ・アーツ・アンド・サイエンス 研究部教授 玉 真之介

事業紹介②

・「四国大学における創業支援事業について」

四国大学地域教育・連携センターSUDAchi推進室創業支援
クリエイター 里見 和彦

パネルディスカッション

・「テーマ：若者の地域定着と徳島県の活性化」

■コーディネーター

徳島大学COCプラス推進コーディネーター 川崎 克寛

■パネラー

日本フネン(株)代表取締役社長 久米 徳男

(株)グローバル・アシスト薬剤師 伊勢 佐百合

(有)榎山農園 榎山 直樹

四国大学地域教育・連携センターSUDAchi推進室創業支援
クリエイター 里見 和彦

■アドバイザー

NPO法人ETIC.チャレンジ・コミュニティ・プロジェクト事務局
マネージャー

閉会挨拶：徳島大学副学長 吉田 和文

概要

本学が申請校となり、今年度に採択された地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COCプラス)「とくしま元気印イノベーション人材育成プログラム」のキックオフシンポジウムが、徳島グランヴィリオホテルで開催され、徳島県内・外の高等教育機関や徳島県、地元企業、関連団体、NPO等から193

名の参加があった。

「とくしま元気印イノベーション人材育成協議会」会長の香川 征学長(徳島大学)の開会挨拶の後、徳島県の飯泉 嘉門知事、文部科学省高等教育局大学改革官の山口 良文氏の来賓挨拶に続き、NPO法人ETIC.チャレンジ・コミュニティ・プロジェクト事務局マネージャーの伊藤 淳司氏から「実践型インターンシップで企業の可能性を拓く」と題して基調講演が行われた。

その後、徳島大学COCプラス推進本部推進官の玉 真之介教授より「とくしま元気印イノベーション人材育成プログラム」、四国大学地域教育・連携センターSUDAchi推進室の里見 和彦創業支援クリエイターより「四国大学における創業支援事業について」の事業紹介がありました。

続いて行われたパネルディスカッション「若者の地域定着と徳島県の活性化」では、パネリストの日本フネン(株)代表取締役社長 久米 徳男氏、(株)グローバル・アシスト管理薬剤師 伊勢 佐百合氏、(有)榎山農園 榎山 直樹氏、四国大学地域教育・連携センターSUDAchi推進室創業支援クリエイター 里見 和彦氏からの話題提供の後、コーディネーターの本学COCプラス推進コーディネーター川崎 克寛氏の進行により討論がされ、アドバイザーのNPO法人ETIC. チャレンジ・コミュニティ・プロジェクト事務局マネージャーの伊藤淳司氏から様々なご意見を頂戴し、盛況のうちに終了した。



基調講演



パネルディスカッション

平成27年度 徳島大学タウンミーティング

まちごととファクトリー オープニングフォーラム ―「まちごと」を創りだす地域におけるスモールビジネスの可能性と実践―

(2015年7月5日 徳島大学にしあわ学舎 / 井川総合支所公民館)

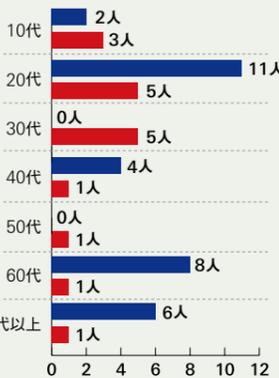
【回答者数】 徳島会場 31名(参加者69名:町内38名、町外31名/回収率 45.0%) / 東京会場 17名(参加者23名/回収率 73.9%)

住所をお答え下さい。

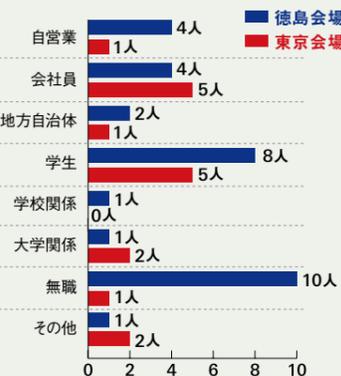
(職場からお越しの場合は職場の住所)



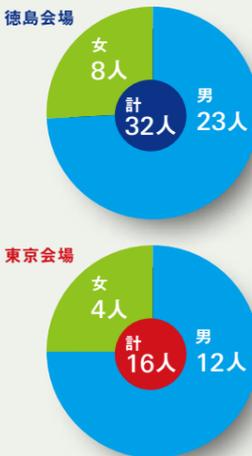
年齢をお答え下さい。



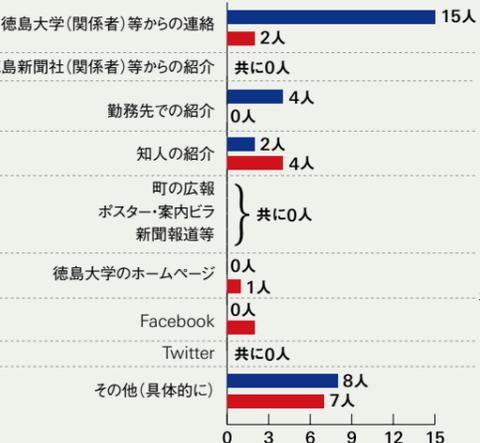
職業をお答え下さい。



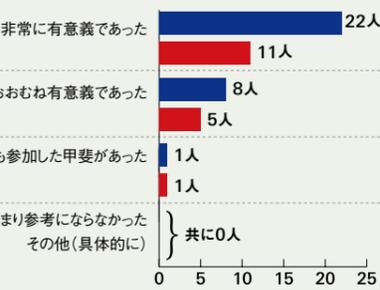
性別をお答え下さい。



このタウンミーティングの開催をどのようにおしりになりましたか



タウンミーティングの内容は有意義なものでしたか



タウンミーティングで関心を持たれた点や感想を教えてください。

徳島会場 にしあわ学舎

- 地方の経済についての考え方が知れて良かったです。
- 古民家を生きた使い方の、思い考え共感いたしました。
- 私も移住してきたので、地域や暮らしに対してどのような視点や精神を持って事業を考えたらよいかという点が、すくと腑に落ちた感じがしました。
- 松場さんの話
- 松場さんの話、良かったです。本を購入したいです。また、常日頃から親しくしているお3人様の活動報告も興味深く、これからも応援していきたいと思います。
- 実行力が自分にならないのが残念に思います。田舎からのルートがあれば良いのと感じます。
- 自然を愛している事がよくわかり、行動力に関心しました。 他

東京会場 明治大学駿河台キャンパス

- 「まちごと」は私がやりたいことにとっても近く、先輩達のリアルな話が聞けて、とても参考になりました。
- ちょうど今後後半に三好市に行くので、訪問するのが俄然楽しみにになりました。
- パネルディスカッション
- 実際にUターン・Uターンした人のマインドセット。
- 参加者の発言機会があっても良かったと思います。Twitterもいいですが、(私を含め) Twitterのやり方がわからない人もいます。
- 都会の中小企業に徳島に起業(仕事場を移す) ことのメリット・デメリットについてのミーティングがあれば幸いです。徳島の仕事場としての、良い点、悪い点。
- それぞれの実体験。
- 実際に起業された方たちの具体的な経験を聞くことができたのが、非常に参考になりました。 他

タウンミーティングあるいは徳島大学(美波町地域づくりセンターも含む)に対して、要望やご意見をください。

徳島会場 にしあわ学舎

- 地域の繋がりがなくなってきていて、婦人会、老人会のお祝いなど町をあげて、助けあってもらっていたものが、近所づきあいもなくなり、老人から子供へのつながりもなくなってきて、敬老のお祝いも銀行振り込み。イベントは町でしていても、老人・親子・子供のつながりがうすくなってきていて、何かできればと思います。
- 活動状況を市町の広報なども活用して、地域に方向向いてほしいです。地域のみんがが自分のこと、地域のこととして、主体的に参画していけるよに…!願っています。 他
- 東京会場 明治大学駿河台キャンパス
- 東京でもサテライト会場にて聴講する機会をいただき、感謝しております。ありがとうございます。
- 今後もこのような情報の提供をお願いします。
- ファクトリー起業プログラムに参加したい。
- この「まちごと」をはじめ、このようなイベントが行われる際には、広く告知していただければと思います。
- 若者だけでなく、より広い世代(特に元気で資金力もある中高年)を対象にするとうれしく思います。
- パネルディスカッションの際に、徳島会場の田村さん、西崎さんのスライドが見えなくて残念でした。明大の入口付近に「まちごとファクトリー」の会場案内もなく、会場に初めて来る人には分かりづかったと思います。 他

※アンケート回答者の文言をそのまま記載